

NIPPO  
打継部接着『スマートボンド』  
湿潤面でも施工可能



NIPPOは、鋼床版のSFRC補強やRC床版の増厚補強の際に打継部に用いる『液型エポキシ樹脂接着剤』『スマートボンド』、『スマートボンド』を開発。既に5橋3400平方メートル

スマートボンドによる床版補強  
旧打継部の接着性にも優れている。特に旧コンクリート表面が偏濁状態であっても、一面の浮き水を拭き取れば、接着剤を塗布しコンクリート打設できる。(同社)ため、安定した施工管理が可能

使用している。来年度には少なくとも約1万平方メートルの床版補強工事採用を見越している。

施工はローラーや刷毛などで塗布する。コンクリート下地に馴染みやすいため施工性が良く、新旧打継部の接着性にも優れている。特に旧コンクリート表面が偏濁状態であっても、一面の浮き水を拭き取れば、接着剤を塗布しコンクリート打設できる。(同社)ため、安定した施工管理が可能

と云う。

コンスト面でも、「従来製品より1平方メートルあたり200g程度少ない量で同程度の性能を發揮できるため、材料費を2割程度削減できる」(同社)としている。

『スマートボンド』は普通コンクリートよりも強度が強い。『J-1』は超速硬化コンクリートに対応する。前者は夏冬の種類の

後者は夏冬と春秋用の3種類を用意し、現場状況に合わせて最適なものを使用する。なお、両材料は上面増厚に関してはNEXCO各社、鋼床版補強に関し

ては首都高と土木研究所の要求性能を満足している。特にNEXCOの接着剤の規格基準値に關しては第3者機関(土木研究所センター)で性能確認試験を行い実証した。